



用水保全

30年のあゆみ

金沢のまちを潤してきた用水。その環境をはぐくみ、後代につなぐための用水保全条例が制定されてから今年で30年を迎えました。これまでの積み重ねを振り返り、これからの価値を考えます。座学の後には実際に用水沿いを歩き、その学びを体感します。

日時：11月3日(火) 13:30 ～ 15:30 【開場13:15】

会場：金沢学生のまち市民交流館 (片町2丁目5-17)

定員：60名 (参加費無料、要事前申し込み)

座学：①「用水保全の歴史」(説明：歴史都市推進課)

②「グリーンインフラからみた金沢の庭園と用水の役割」

講師：フアン・パストール・イヴァールス 氏

(国連大学サステイナビリティ高等研究所OUIK 研究員)

まち歩き：大野庄用水と鞍月用水沿いを巡ります

申し込みはこちらから [Web申請] ⇒

※締切は10月26日(月)まで、応募多数の場合は抽選



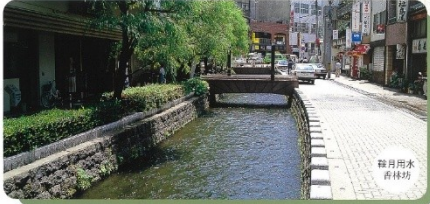
問い合わせ

金沢市文化スポーツ局
歴史都市推進課
☎ 076-220-2208

『用水保全30年のあゆみ』

金沢の用水保全の歴史を振り返る座学と、実際の用水沿いを歩いて魅力を体感するプログラムです。

用水の街『金沢』 再生をめざして



保全条例制定時のパンフレット



開渠化事業（せせらぎ通り）



用水エコ探検ツアー

タイムスケジュール

13:15 受付

13:30 座学①「用水保全の歴史」

座学②「グリーンインフラからみた金沢の庭園と用水の役割」

14:40 まちあるき（小雨決行※）

15:30 現地解散 ※荒天時は座学延長

講師プロフィール



フアン・パストール・イヴァールス

国連大学サステイナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・
ユニット 研究員

スペイン・デニア出身。ヴァレンシア工科大学で建築設計を学び、文部科学省留学生として2009年に来日。京都工芸繊維大学で建築設計修士、2015年にヴァレンシア工科大学で建築設計博士（日本庭園）を取得した。限研吾建築都市設計事務所等を経て2016年より現職。建築設計・景観生態学の視点から、日本庭園を含む都市の伝統的な緑地と水環境に着目し、「都市に自然を戻す」ためのグリーンインフラと持続可能な都市づくりについて研究している。

会場：学生のまち市民交流館（交流ホール）



※当日は公共交通でお越しください（駐車場はありません）。